

ウイステリア導入に関する費用について

具体的なことを解説します



高橋 啓（日本ヘルスケア歯科学会代表）

日本ヘルスケア歯科学会に入会して、ウイステリア Pro（患者管理データベース）について聞くことがあり、興味を持つ方も多いと思います。ただ、導入にかかる費用がだいぶ変わってきているので、現在の費用について具体的に解説をしたいと思っています。

ウイステリアは、Clarix FileMaker（以下 FileMaker）というソフト上で動くカスタム App（テンプレート）

ウイステリアは、FileMaker というクラリス社のソフトで動くカスタム App になります。それゆえ、ウイステリアを導入する際は、FileMaker というソフトが必ず必要になってきます。

この 20 年で大きく変わってきた FileMaker

FileMaker は、データベースソフトになります。だからデータを記録していると検索して分析をすることができます。それが、ほかの歯科ソフトとの違いになります。みなさん藤木省三さんの講演で、検索のことを聞いたことがあるかと思います。このソフトは、20 年前は安価なソフトだったのですが、だんだん価格が上がっていき、高度なこともできるようになりました。その結果、ネットワークで使用する場合、個人差はありますが素人のパソコン（以下 PC）知識では設定が難しくなっています。クラリス社には、ホームページにパートナー企業のページがあり、専門知識を持った会社を紹介してくれる仕組みもあります。ただ、業者に依頼すると費用が発生します。

クラリス社に FileMaker のネットワーク使用の設定について問い合わせしてみた

数年前になりますが、私自身が「クラリス社は、FileMaker のネットワーク使用に関する設定についてどのように考えているのだろうか？」と思い、直接問い合わせたことがあります。そのときの回答は、「基本的に LAN 環境が整っていれば、簡単につながるソフトです。つながらない方は、まずは LAN 環境の問題が多いように思います。そして、使用する PC 環境の影響もあるかもしれません。同じ OS 環境であると簡単につながると考えています。FileMaker は、アカデミーというサイトを作って、ユーザーの皆さんが、自分で設定、カスタマイズできるラーニング環境を整えています。カスタマイズできるソフトであることは、今も FileMaker の特徴であり、強みです」とのことでした。

設定の問題

クラリス社は、そう言うのですが、PC 環境の継続した統一は難しく、実際に設定の問題は存在します。当学会では、ウイステリアを導入する際に、ネットワークで使う場合（各ユニットで使用する）は、専門業者に設定の依頼をすることを推奨しています。

費用面から見た、ウイステリア導入について

① ウイステリアをネットワークで使用する場合

表 1 ネットワークでウイステリアを使用する場合
アポイントも、口腔内写真も歯周組織検査もウイステリアで管理する

ウイステリア ver6 アポイント管理職 4 (新規セット / 107,800 円)	FileMakerPro (1 ライセンス / 69,696 円) iPad は 5 ライセンスまで無料 (使用状況により有料)
FileMakerPro FileMakerServer (5 ライセンス / 348,480 円 / 買い取り) PC5 台以上ならボリュームライセンス必要 iPad は 5 ライセンスまで無料	
ハード環境 (PC、タブレット、バックアップ用 HDD 等々)	
業者に設定してもらう必要あり	

ユニット 3 台の医院での一般的な構成

- ・サーバー機 (1 台)
- ・受付機 PC (1 台)
- ・カウンセリングコーナー PC (1 台)
- ・ユニットサイドに子機 PC (1 台)
- ・口腔内写真保存用 NAS
- ・iPad 3 台

来院データ（来院履歴、抜歯履歴、残存歯数、DMFT、喫煙経験等）、口腔内写真、歯周組織検査、CRASP、アポイントを管理する場合は、表 1 のようなものが必要になってきます。金額は、FileMaker とウイステリアの金額を入れています。

FileMaker の金額は、1 ライセンスあたり税込 69,696 円で、何ライセンス必要かによりその掛け算となります。5 ライセンス以上必要な場合はボリュームライセンス契約が必須で、FileMaker Server というサーバー用のソフトが付属してきます。専門的には FileMaker Server 導入した方が安定したネットワーク環境が構築できるようです。FileMaker の購入形式には、サブスクもあるのですが、長い目で見ればサブスクより買い取り契約をお勧めします。例示も買い取りの価格を入れています。ハードは、どこまで必要かで話が変わります。さらには、ウイステリアの設定を業者に頼む場合には、設定費用が必要になります。

② ウィステリアを最小限で使用する場合

表2 ウィステリアを最小限で使用する場合
データ入力を主体に使用する場合

ウィステリア ver6 (66,000 円)	最小限の構成 ・PC (1 台) ・iPad 5 台以内
FileMakerPro (PC1 台) (69,696 円/買取り)	
ハード環境 (Windows or Mac PC1 台, iPad5 台以内)	
自分で設定する	

来院データ（来院履歴，抜歯履歴，残存歯数，DMFT，喫煙経験等）入力と CRASP 入力ぐらいで使用する場合は，この導入の仕方がお勧めです（表2）。Mac の PC1 台と iPad を 5 台以内で運用するパターンになります。今は，この使用方法ができるのですが，今後制限がかかる可能性があることは，知っておいてください。そのあたりは，クラリス社の方針によるところです。自分で設定，管理をすれば，節約ができる方法です。

ウィステリアのややこしいところは，FileMaker のバージョンとパソコンの OS のバージョンアップの両方の影響を受けることです。FileMaker のバージョンアップは，ほぼ毎年あります。それゆえ，導入して何年も経過して，後から子機 PC を増やしたい，壊れたから PC を買い換えたいといったときに，同じ OS の PC がない，追加の FileMaker も古いバージョン*が手に入らないといった状態に直面します。

以上，私ができる範囲で費用面からウィステリアについて，解説してみました。導入を考えている方の参考になればと思います。ウィステリアに関する質問は，事務局（ウィステリア委員会）宛にメールをください。ホームページ上に回答をアップしていきます。

*FileMaker のネットワーク接続の下位互換は，下に 2 バージョンまでです。現行の FileMaker2024 の場合，2023，19 までとなります。

